

ECB 7月に0.25%の利上げへ

ポイント① ECB 7月に0.25%の利上げへ

ECB（欧州中央銀行）は6月9日の理事会にて、量的緩和措置である資産購入プログラム（APP）を7月1日に終了することを決定したほか、同月中に政策金利を0.25%引き上げる方針を表明しました。背景には、5月のユーロ圏CPI（消費者物価指数）が前年同月比で+8.1%と、過去最高水準を記録するなど、ウクライナ情勢をはじめとした、持続的なインフレ圧力の存在があるようです。ラガルド総裁は理事会後の記者会見で、「インフレ率が中期的に目標の2%に戻るようにする」と強調した上で、9月にも再び利上げを行なう方針を示しました。

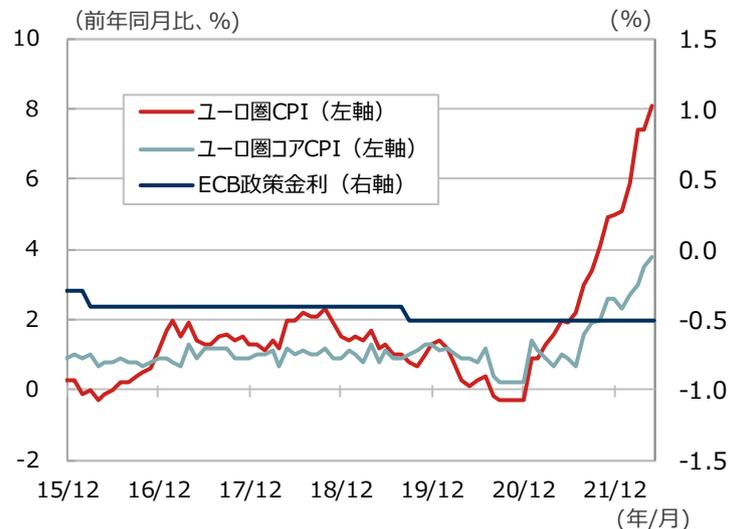
ポイント② 9月には大幅利上げの可能性も

同日、ECBより発表された「経済・物価見通し」では、2022年の消費者物価の伸び率が6.8%に上方修正されたほか、2023年は3.5%、2024年は2.1%と、いずれも中銀目標を上回る物価見通しが示されました。ラガルド総裁は、この水準を高くするとし、「9月の同見通しにおいても、同様またはさらに悪化した数字が示されれば、利上げペースを加速させる必要がある」と述べ、9月に0.5%の利上げが行なわれる可能性を示唆した格好となりました。

ポイント③ 欧州債利回りは軒並み上昇

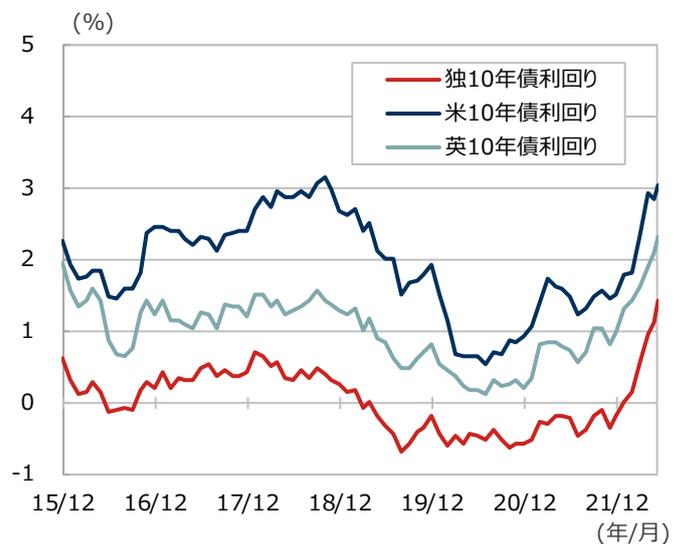
ECBの金融政策発表後、欧州主要国債の利回りは軒並み上昇し、市場では利上げの加速を警戒する売りが多く見られました。ただ一方で、ロシアへのエネルギー依存が高いユーロ圏では、諸外国よりも経済の先行きに対する不透明感が強く、より慎重な政策判断が求められていることから、米・英などの主要中央銀行と比較し、今後のECBの利上げ幅は相対的に小さいと見ています。

ユーロ圏の消費者物価指数
政策金利（中銀預金金利）の推移



期間：2015年12月末～2022年6月9日、月次
(CPIは2015年12月～2022年5月、月次)
(注) コアCPI：エネルギー、食品、酒、たばこを除く
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

独・米・英の10年債利回りの推移



期間：2015年12月末～2022年6月9日、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

**重要
イベント**

- 6月15日 ユーロ圏貿易収支、ユーロ圏鉱工業生産指数 (4月)
- 6月21日 ユーロ圏経常収支 (4月)